

令和7年度の「ため池総合対策」の取組状況について

1 要旨・目的

県では、豪雨等に起因するため池の決壊などによる災害の未然防止を目的として、「ため池総合対策」を推進しており、令和7年度の取組状況について報告する。

2 現状・背景

令和3年度から実施した防災重点農業用ため池の劣化・豪雨等の診断結果を踏まえ、決壊時の下流への影響を考慮した優先順位を定め、防災工事を計画的に実施することとしており、すべての対策を終えるには相当の時間を要することから、ソフト・ハード一体となった取組を市町と連携して進めている。

3 概要

(1) 対象者

ため池管理者等

(2) 主な事業内容（実施内容）

「2025広島県農林水産業アクションプログラム」の具体的行動計画に基づき、次のとおり、着実に取り組んでいる。

ア 住民の迅速な避難行動につなげる対策

令和3年までに全ての防災重点ため池の浸水想定区域図を作成・公表しており、下流に家が建つなどの状況変化が生じた62池について、浸水想定区域図の見直しを行った。

また、地域住民に対して、「ため池フォーラム」（令和7年10月23・24日開催、約600名参加）の開催や「ひろしま県民だより」などを通じて、防災情報の発信を行った。

イ 管理強化と防災工事（補強・廃止）

(ア) 防災工事の推進

優先順位に基づき、補強工事（全面・部分改修）を行うとともに、利用しなくなったため池は堤体を開削して貯水機能をなくす廃止工事を実施した。

事業名	事業概要	事業量	
		R6 (計画) 実績	R7 (計画) 実績
ため池等整備事業	防災工事（補強・廃止）	(68) 78池	(68) 86池
	全面・部分改修の完了	18池	19池
	廃止工事の完了	60池	67池

(イ) 利用者による適切な管理

広島県ため池支援センターによる健全度の低いため池のパトロールや研修会の実施、当面の安全性を確保するサイフォン等による低水位管理を促進した。また、市町において、ため池の決壊リスクを早急に把握する遠隔監視システムの設置が進んだ。

事業名	事業概要	事業量	
		R 6 実績	R 7 実績
ため池等整備事業 (適正管理支援)	ため池支援センターによる パトロールや研修の実施	パトロール 432 池 管理者研修 18 回	パトロール 399 池 管理者研修 20 回
	遠隔監視システムの設置	50 池	53 池

(3) 予算（国庫・単県）

2,788,921 千円（令和6年度国補正分含む）

(4) 今後の対応

引き続き、「ため池工事特措法」などに基づく有利な財源を最大限活用し、市町と連携しながら、優先順位を踏まえた防災工事を集中的に実施するとともに、防災情報の発信や管理強化に向けた取組などのきめ細かいソフト対策を推進していく。

4 その他

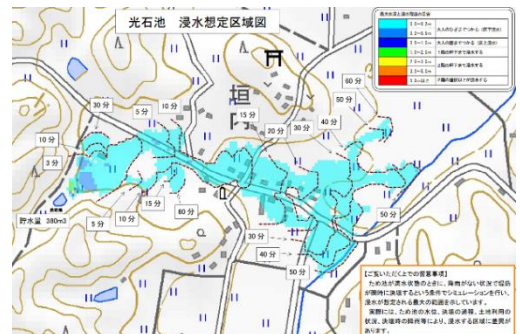
令和7年度「ため池総合対策」の取組事例は次のとおり

住民の迅速な避難行動への誘導（劣化等診断）



- ・現地調査により、劣化・豪雨診断を行い、ため池の現状を把握した。（呉市渡川新池）

住民の迅速な避難行動への誘導（浸水想定図）



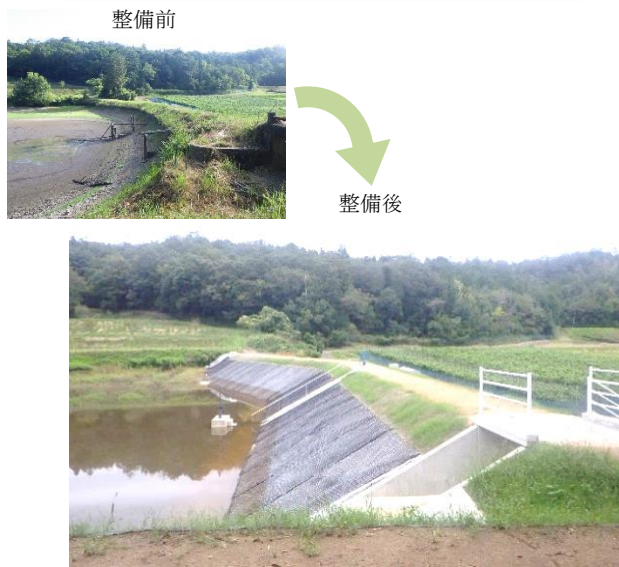
- ・ため池決壊した場合の浸水想定区域図を見直した。（三原市光石池）

住民の迅速な避難行動への誘導（防災情報の発信）



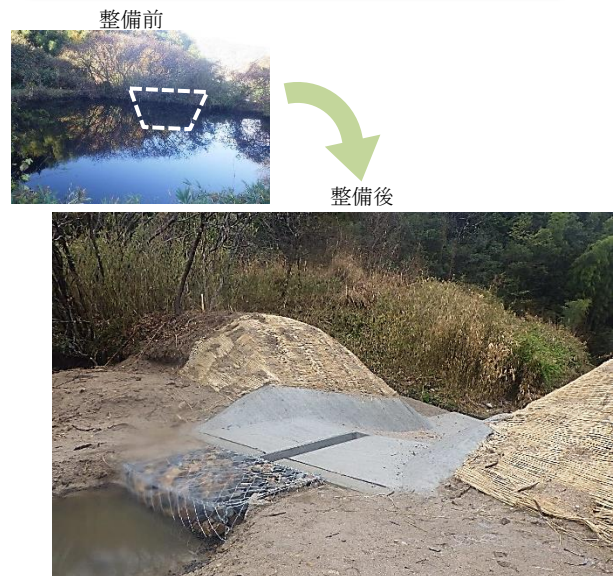
- ・「2025ため池フォーラム in ひろしま」や「ひろしま県民だより」を通じて、県民に対して、ため池の災害リスクや適正管理の重要性を周知した。

管理強化と補強対策（補強工事）



- ・老朽化が進んでいるため、補強工事を行い、健全性を確保した。（三次市蓮池）

管理強化と補強対策（廃止工事）



- ・堤体を開削し、貯水機能を廃止した。（東広島市佐々木池1号）

管理強化と補強対策（市町職員研修）



- ・市町における防災工事が計画的に進むよう、設計や工事監督のポイント等を伝える研修会を開催し、市町技術職員の育成を図った。

利用者による適切な管理（パトロール等）



- ・ため池支援センターによるパトロールや研修を行い、災害の未然防止に繋がった。

利用者による適切な管理（遠隔監視システム）



- ・リアルタイムで水位等の情報を市HPで把握できるよう装置を設置した。（福山市）